

松尾芭蕉逗留の地 都留市

松尾芭蕉逗留の地とされる都留市は、町のあちこちに芭蕉の句碑が建ち、歴史・文化の香り漂う町です。谷村藩主・秋元喬知の国家老である高山傳衛右門繁文(俳号麁峙)は芭蕉の弟子であり、天和二年の江戸の大火で焼け出された芭蕉は、彼の招きによって谷村に滞在したと言われています。

そんな地にある都留市立図書館では、俳句関係本を収集しています。また毎年5月には「ふれあい全国俳句大会」が開催され、全国から愛好者が集い俳句の腕をふるいます。図書館がある「都留市まちづくり交流センター」の隣には、芭蕉が滞在したとされる高山家の離れを再建した「桃林軒」もありますので、ぜひ足を運んでいただき、都留の俳句文化に触れてください。

(都留市立図書館 野尻 岬)

都留市立図書館 編



桃林軒



図書館ボランティアの

日常から



郷土ゆかりの貴重な資料も豊富。



職員の方からさまざまなお話を伺いました。

Vol.13 自主企画研修 市川三郷町立図書館 視察

令和6年9月19日、令和2年に新館オープンした市川三郷町立図書館を訪問しました。生涯学習センター内にあり、文化・情報の拠点としての役割を担っています。

明るく広々とした空間で、じっくりと読書や調べものに取り組める図書館です。展示の工夫や所属するボランティアグループの活動などのお話を伺い、刺激になりました。限られた時間でしたが、充実した研修でした。

(図書館協力員担当 山本)

Information

2025年度上半期のイベント

5月
5日

月・祝

こどもの日のための 腹話術とパペットショー

子どもも大人も一緒に楽しめるGW 特別イベント。パペットの人形劇や手遊び歌、大型絵本の読み聞かせなど、盛りだくさんの内容です。



5月
18日

日

かいふり健康フォーラム 山梨がんサミット第1弾

がんの診断や治療などにおいて耳にする専門用語や、その他気になる疑問に講演やパネルディスカッションを通して答えます。



調べ物、読書に「代読サービス」をご利用ください

毎週金曜日の午後1時～3時、活字を読むのが難しい方のために専門のボランティアが図書館資料を読み上げるサービスをおこなっています。ご利用には利用登録の他に申込みが必要です。詳しくは調査サービス担当へお問い合わせください。

ジッポからの ひとこと便り



山梨県立図書館は「本や人

との出会いに満ちた場所」だ

よ。平成24年秋に甲府駅北口

にお引越して、12年が経った今、毎日平均

2,000 人の人が訪れている。ふらりと来てカ

フェでくつろいだり、雑誌を読んだり、イベン

トに参加したり。君もぜひ活用してみてくださいね！

当館キャラクター
本探偵
ジッポ・ホームズー世

読書山梨



YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

山梨県立図書館報

157

2025.4.1 発行



みんな おいでよ！

県立図書館のおはなし会



よちよちおはなし会



とことこおはなし会

01 よちよちおはなし会、とことこおはなし会

よちよちおはなし会(0～2歳の赤ちゃんと保護者向け、平日)、とことこおはなし会(3歳～小学生向け、土・日・祝日)を開催しています。子どもの年齢に合わせたおすすめの本を読み聞かせします。季節のわらべうたや手遊びも人気です。

02 バリアフリーおはなし会

点字つき絵本や布の絵本など、バリアフリー図書(障がいなどにより、紙に書かれた文字を読むことが難しい子どもが読めるように工夫された図書)を使ったおはなし会です。読み聞かせを聞きながら、実際に絵本に触り、点字や樹脂インクで印刷された絵の輪郭や模様を確かめたり、布の絵本のボタンをとめたり、外したりすることができます。



03 外国語の絵本読み聞かせ



図書館協力員が英語、イタリア語、フランス語などの絵本の読み聞かせと、英語の歌を歌いながら体を動かす手遊びをします。日本語訳の絵本も読むので、外国語がわからなくても安心して参加できます。ハロウィーンやクリスマスなど、季節ごとに工夫されたプログラムが特徴で、乳児から小学生まで、幅広い年齢の親子が参加しています。

この本が
好き！

図書館スタッフおすすめの1冊



私がこの世でいちばん好きな場所は台所だ
と思う——祖母の死、突然の奇妙な同居。
主人公みかげは、生きることの淋しさと美し
さを感じながら少しずつ心を再生していく。

『キッチン』

吉本ばなな/著
新潮文庫 2002.7

こころの疲労回復に。



山梨県立図書館
資料担当
関口智子

「キッチン」は3つの短編からなります。どの作品も大切な人の「死」から始まり、それを受け容れ、再び「生」へと向かう道が描かれています。10代ではじめて出会って以来、私にとって日々の生活に疲れたときに欠かすことのできない一冊です。話の中で人々は実に強い光を放ち、まっすぐなやさしさと互いを想い、生きています。その光とやさしさは私のこころを満たし、次の一步を踏み出す力をくれます。

キッチンは生きる基となる食事を作る場所。私は「キッチン」を読みながら、自分のこころに食事を作っているのだと思います。



山梨県立
図書館

YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

山梨県立図書館報
読書山梨157号

発行日 2025年4月1日

発行:山梨県立図書館(かいふり)

〒400-0024 甲府市北口2丁目8番1号

TEL:055-255-1040(代表) 255-1041(施設予約) FAX:055-255-1042

URL <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

E-mail ken-tosho@lib.pref.yamanashi.jp

.... 図書館で楽しめる音楽会 おんがくかいぶらり

山梨県立図書館では、「おんがくかいぶらり」と題して、毎年5回、さまざまなコンセプトで音楽会を開催しています。この音楽会は、県民の皆様に優れた生演奏を気軽に聴いていただく機会を提供することで、図書館からの芸術文化の発信を目指しています。

本イベントは第1回から第31回(平成27年～令和2年度)までは、山梨にゆかりのある著名なヴィオラ奏者・故藤原義章氏のコーディネートにより、企画運営されてきました。第32回(令和3年度)以降は、声楽家の川口聖加さんの企画による演奏会を開催しています。川口さんは、ソプラノ歌手としてフランス・ドイツ歌曲を中心に、バロック声楽曲、宗教曲、現代曲まで国内外で幅広く演奏をされており、「地方にもっと良い音楽会を」をモットーに、山梨を中心に、地方の皆様にも質のよいさまざまな音楽会を気軽に聴くことができる環境づくりを目指して活動されています。

本イベントは令和7年度には52回目を迎えます。今後の「おんがくかいぶらり」も、どうぞご期待ください。
(企画振興担当 佐藤)

令和3年12月18日(土)

Vol.35「宮崎仁&パーカッション・パラダイス」



打楽器の音楽と演奏法を東京藝術大学や海外で学び、国内外で活躍する甲府市出身の宮崎仁氏とその仲間による演奏会。

令和5年12月16日(土)

Vol.45「バリアフリーライブ」

MARINA'S, RICO & TATSU、手話舞くらぶ、西村知紘氏、北越大介氏、桑名翔英氏による、手話通訳を配置した、聴覚障がいの方でも楽しめる演奏会。



令和4年12月17日(土)

Vol.40「尺八 箏」



国内数々の賞を受賞し、全国規模で活躍されている尺八奏者の奥田徹氏と箏奏者の奥田伊予子氏の2名が演奏してくださいました。

令和6年7月14日(日)

Vol.48「揚琴奏者 青野淳子」

ペルシャの古代楽器サントールに起源を持つ中国の民族楽器・揚琴を、青野淳子氏が演奏してくださいました。



テーマ展示
の報告

やまなしの昭和を振り返る

令和6年12月6日～令和7年2月2日

令和7年は昭和で数えるとちょうど100年目。山梨の昭和時代に起きた出来事を中心に関連資料を集め、情報サテライト2で紹介しました。経済成長の中さまざまなインフラが整い、国を挙げてのイベントも開催されてきた一方で、戦争や災害など、令和のいまにつながる問題の端緒があったことも資料から読み取れます。展示終了後も県立図書館ホームページ内「発見!やまなしナビ」で展示リストを公開しています。ぜひご覧ください。

(調査サービス担当 大平)



『山梨にやってきた「青い目の人形」たち』
山梨県立博物館／編集
山梨県立博物館 2009.7

『第41回国民体育大会
かいじ国体式典音楽写真集』
山梨日日新聞社／編
かいじ国体式典音楽推進協議会 1987



『昭和写真大全甲府』
石川 博／監修
郷土出版社 2010.9

県図書TOPICS

TOPIC1

神永 学氏 講演会

令和6年11月10日(日)、イベントスペースにて、山梨県出身で「心霊探偵八雲」シリーズなどで人気の小説家、神永学氏を講師にお迎えして講演会を開催しました。

「ミステリー作家流楽しく学ぶ方法」をテーマに、神永氏がどのように本と向き合い、作家を志すことになったのかなどについてお話ししていただきました。
(企画振興担当 佐藤)



TOPIC2

第37回 「山梨県図書館大会」を 開催しました

令和6年11月29日(金)、中央市立玉穂生涯学習館ほかにおいて「今、あらためて問い直す図書館と司書」をテーマに開催しました。児童書作家の杉山亮氏による記念講演と、デジタル化や多様化が進む中での図書館や司書の役割を考える分科会を行い、228名の皆様にご参加いただきました。
(企画振興担当 大窪)



TOPIC3

雪降る森の図書館

館内装飾で、降り積もる雪の中に佇む小さな図書館を作りました。

暖炉の火や揺れるろうそくで暖かな雰囲気の中で、くまやうさぎなど森の動物たちが読書を楽しむ姿を表現しました。

来館のたびに变化する雪など、多くの方々が見て楽しんでいただける装飾になりました。
(指定管理者きらっとやまなし共同事業体 渡邊)



TOPIC4

本の福袋と ジップのおみくじ

5回目となる新春企画を令和7年1月4日～1月7日に開催しました。

3冊1セットの194テーマの福袋と、ジップのおみくじは「当たり」もある700本をご用意。赤ちゃん連れの親子からご高齢の方まで多くの方にご利用いただき、笑顔あふれる年明けとなりました。
(企画振興担当 三森)



システム機器を更新しました



令和6年10月28日(月)～11月5日(火)まで、図書館情報システム機器の入替作業を行いました。サーバやパソコン、自動貸出機、予約棚などもすべて新しいものに置き換ええました。

座席申込みシステムから「パソコン席(電源利用)」の申込みが可能になったほか、公衆無線LANのログイン認証に新たなSNSの種類を追加するなど、利便性の向上を図りました。

今後も皆様に快適にご利用いただけるよう努めてまいりますので、引き続きご利用ください。
(情報システム担当 馬淵)